



広尾高校3年生の進路講話を傾聴する中学生～中高一貫進路講話（2月1日 広尾中学校体育館）



ひろお

議会だより

No.197

2021年3月1日発行

【令和2年第4回定例会】



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

指定管理者制度導入 住民サービスの向上と
管理経費を縮減

2

一般質問（7人が登壇）

／飲食店支援／オンライン面会／JRバス

7

議案審査 10年間のまちづくりを審査
特別委員会

15

議員活動の自己評価を実施

20

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

条例
制定

指定管理者制度導入

住民サービスの向上と
管理経費を縮減

4月から
スタート

令和2年
第4回
定例会

12/ 8 ~11



令和2年第4回定例会は、12月8日（火）から11日（金）までの4日間の会期で開かれました。指定管理者制度に関する条例の制定や町営牧場運営管理に関する条例の一部改正、補正予算などが提案され、審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

平成15年の地方自治法の改正により、公の施設の管理の仕組みが「管理委託制度」から「指定管理者制度」へと変わりました。本町においては、導入できる施設がなかったため、条例を制定していませんでしたが、民間の活力や能力、ノウハウを住民サービスの向上と行政コストの縮減等に期待できると総合的に判断されたため、「指定管理者制度」の条例が制定されました。

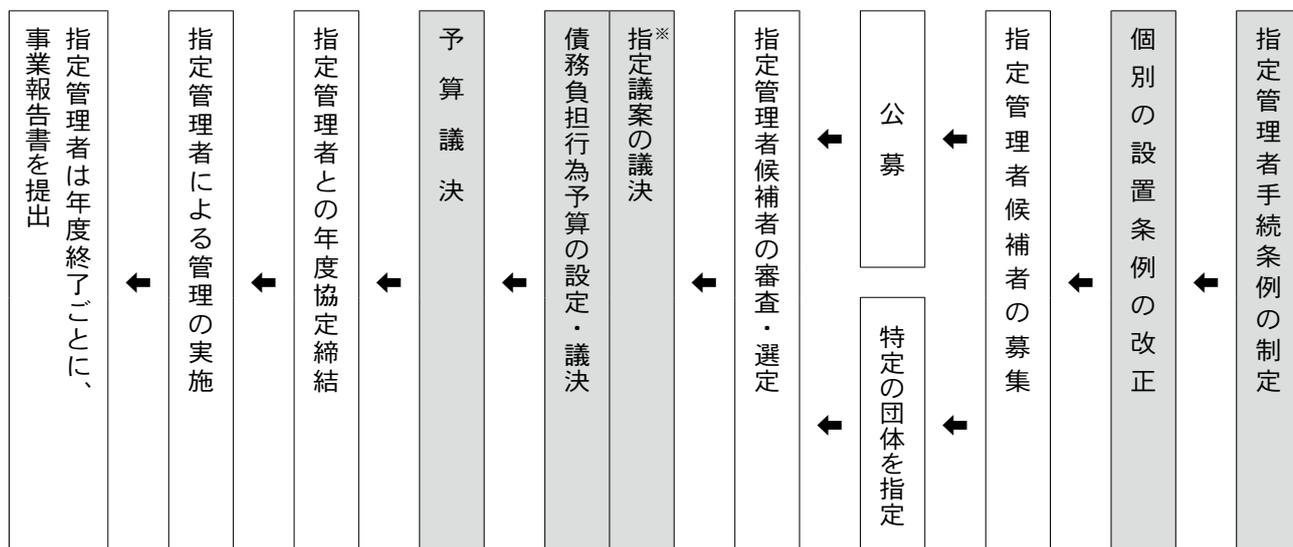
問 一般的な指定管理者の管理期間は5年間であるが、十勝管内の状況は。

答 把握していない。

問 利用料金の内容は。

答 運営費は①全て利用料金で賄う。②設置者の自治体が支出。③一部を自治体が支出し、残りを利用料金で賄う。の3通りである。

●指定管理者制度導入スケジュール（例）



※指定議案の議決項目

- ①公の施設名称
- ②指定管理者の団体名称
- ③指定期間

官から民へ

観光案内所

「サンタの家」

指定管理者制度を導入

利用者の多様化するニーズに対応したきめ細やかなサービスを提供し、利便性や満足度を向上させるため、広尾町観光案内所設置条例を全部改正し、令和3年4月から指定管理者制度導入を可能とする条項に整備しました。

問 今までの運営体制に支障があつたから改正するのはか。

答 第6次まちづくり推進総合計画に、「民間主導で町民からサンタランドの機運を高めていく」としており、指定管理者制度を導入することで、魅力向上を図っていただきたい。

経営移譲

東豊似牧場

農協経営へ

町営牧場の利活用促進に関し、農協と合意項目を実行するため、広尾町営牧場運営管理条例の一部を次のとおり改正しました。

①粗飼料供給事業に係る採草料（売払い価格）の整備

②農協の創意工夫によつ

て利活用活性化された取組を可能とする、附帯事業等に関する規定の整備

③管理の委託に関する規定の廃止

令和3年度から経営体制を農協に移譲。利用活性化を促進し、牧場経営

●広尾町選挙運動の公費負担（概要）

選挙区分	公営の有無			供託金額
	選挙運動用			
	自動車	ポスター	ビラ	
町 村 長	× ↓ ○	× ↓ ○	× ↓ ○	50万円
町 村 議 会 議 員	× ↓ ○	× ↓ ○	頒布不可 ↓ 頒布解禁 公営対象	無し ↓ 供託金 導入 15万円

公職選挙法の一部改正により、町村の選挙における立候補の環境改善を

図るため、選挙運動用ビラ等を選挙公営の対象とする条例が制定されました。

町村選挙

選挙運動公費負担

東豊似牧場
(161.8ha)

費などを改善、町財政の健全化を確保します。
なお、東豊似牧場を長期かつ独占的に利用させることを議決しました。

- ①利用対象物件 (管理面積)
- ②利用者 広尾町農業協同組合
- ③利用期間 令和3年4月1日から令和13年3月31日まで
- ④利用させる目的 公共牧場を有効活用し、畜産事業の振興を図る

その他決まったこと

- ◎議会基本条例に、災害時等の対応に関する規定を整備しました。
- ◎議案審査特別委員会に付託され原案どおり可決すべきと報告があつた「広尾町まちづくり推進総合計画」は、本会議において原案どおり可決されました。
- ◎人事院規則の改正に伴い、職員の特殊勤務手当に新型コロナウイルス感染症対策の防疫作業等手当を整備。また、養護老人ホームに勤務する職員の養護業務手当の支給割合を改正しました。
- ◎中小企業の支援強化のため法改正されたことによる、関係条例の条項を改正しました。
- ◎小規模保育事業所など特定地域型保育事業所において、内閣府令に基づき関係条例を改正しました。
- ◎家庭的保育事業者等の法改正に伴い、保護者の疾病等により家庭で乳幼児を養育することが困難な場合に居宅訪問型保育ができるよう、関係条例を改正しました。
- ◎放課後児童支援員の認定資格研修の実施主体が拡大されたため、関係条例を改正しました。
- ◎広尾町が加入する十勝圏複合事務組合のごみ処理施設等の事務に、一部の構成団体を加える規約に変更しました。

- ◎税制改正に伴う地方税法の改正により、給与所得控除等が10万円引き下げられ、基礎控除額が10万円引き上げられた。国保制度は、地方税法の規定を用いるため、国保税の軽減判定基準において改正を行い、税制改正による保険税軽減措置への影響を遮断しました。
- ◎地方税法の改正に伴い、延滞金の積算に用いる「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」に文言を変更するため、関係条例を改正しました。
- ◎町内光回線未整備地区における光ファイバ回線整備の実施に伴い、広尾町過疎地域自立促進市町村計画の事業内容及び事業主体の変更を行いました。
- ◎工事請負契約締結の議決事項の変更
 - ・【工事名】西通排水区流末改修工事
 - ・【契約額】(変更前) 5885万円 (変更後) 6684万7000円
 - ・【変更理由】関係団体との協議により、工事着工を11月下旬に変更したことで、コンクリート打設に伴う防寒養生費や除雪費が増額したため



次のページは「第4回定例会・意見書・行政報告」



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約してあります。

漁業緊急支援事業 給付金の状況

新型コロナウイルスの影響を受けた漁協組合員に対する給付金は、令和2年11月30日現在、123件3492万3000円を給付した。

漁業の生産実績状況

令和2年11月30日現在で合計38億8148万円、前年対比6億6356万円、20・6%の増となった。

農産生産見込み

農産・畜産合わせて過去最高の約82億7000万円になる見通し。

町営牧場の経営転換

赤字体質経営から転換を図るため、農協が主体となり東豊似牧場の利用



サンタメール事業を継続し、魅力あるまちへ

北方圏交流振興会

「サンタメール事業」は、サンタランドを活用した観光振興に取り組むためにも継続し、不採算となった場合は公費で補填する。

とかち広域消防事務 組合の重要施策等 検討状況

また、町の委託で実施している大丸山森林公園観光案内所「サンタの家」の管理は、指定管理者制度により、観光商品の販売等を含め、企業・団体等に担っていただく。

令和3年度任用の地域 おこし協力隊を募集

まちの活性化に向けたプロジェクトのサポートや都市部との関係人口の構築等を担う人材として2名、また、町内の森林生産から製材・加工・流通の仕組みを調整し、林業・木材産業の成長産業化を後押しする人材として1名の合計3名を募集し、令和3年4月の任用に向けて進めていく。

十勝港水面貯木場の 保稅藏置場の許可 期間終了

原木の輸入において関税法に基づく輸出入税を未納のまま保管できる「保稅藏置場」として平成26年12月から指定されていたが、令和2年11月30日で許可期間が終了し、保稅藏置場としての機能は終了した。

新年交礼会・消防団 新年出初式の中止

来場者や関係者の健康・安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とする。

町内飲食店における 新型コロナウイルス感染拡大 防止対策支援

「新しい生活様式」や「北海道スタイル」を積極的に取り組む町内飲食店に対し、感染予防対策費用を1店舗あたり10万円を限度に費用の一部を支援する。

新型コロナウイルス対策の状況

新型コロナウイルス対策事業の経過・結果は左表のとおり。

事業名	交付した事業者件数と金額	
①飲食店応援クーポン配布	28件	279万3000円
②飲食店応援プレミアムクーポン販売	26件	247万7000円
③地域振興プレミアム付商品券発行	122件	9571万4500円
④中小企業緊急支援事業給付金	107件	2820万円
⑤上下水道使用料等減免	上水道	178件 90万20円
	下水道	142件 58万4496円
	簡易水道	4件 2万9260円
	個別排水	4件 1万6720円

※③以外は事業完了

令和2年11月18日現在



菅原教育長からの

教育行政報告

中高生等海外研修派遣 事業の派遣先の変更

令和3年度から中学生の海外研修の派遣先を治安の良さや英語学習の環境改善を図るため、アメリカ西海岸からシンガポールへ変更する。

広尾高校進学者に 助成金を支給

高校存続は最大の懸案であることから、令和3年度から広尾高校への進学者に一律5万円を支給し、保護者の経済的な負担軽減を図る。



次のページは「議員の出勤」「一般質問『コロナ飲食店支援』」

令和2年 第4回定例会 議案審議結果

●第4回定例会では、賛否のあった議案はありませんでした。(全て全会一致)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和2年9月定例会終了後～令和2年12月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田健司	浜野隆	萬亀山ちず子	前崎茂	北藤利通	志村國昭	星加廣保	山谷照夫	渡辺富久馬	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
11/13	第6回臨時会(議案訂正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/25	第7回臨時会(条例改正・補正予算)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/8	第4回定例会(条例制定・改正など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/9	第4回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
12/11	第4回定例会(補正予算、意見書など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		5日	出席日数計		5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所屬外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
10/15	第4回総務常任委員会		○	-	-	-	○	○	×	-	-	○	○	-	×
10/27	第3回産業常任委員会		-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○
11/5	議会広報編集会議		○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-
11/6	議案審査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11/9	議案審査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11/13	議案審査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11/13	第5回議会広報特別委員会		○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
11/25	第7回議会運営委員会		-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○
12/3	第8回議会運営委員会		-	-	-	○	○	○	×	○	○	-	-	○	○
12/9	第9回議会運営委員会		-	-	-	○	○	○	×	○	○	-	-	○	○
12/11	議会広報編集会議		○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。
 ※副議長の浜頭議員は、議会運営委員会にオブザーバーとして出席しています。
 ※議案審査特別委員会は、議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
9/29	議会モニター会議(1班)		-	○	-	-	-	○	×	○	-	○	○	○	○
10/9	南十勝町村議会議員研修会(大樹町)		○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×
10/27	第8回議員協議会		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
11/13	第9回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/25	第10回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/26	高校生とのまちづくり懇談会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
12/8	第11回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例会で町長などに執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることで、広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

12月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちゃん」

●一般質問 項目一覧

松田健司議員	飲食店への感染予防対策支援は	P 7
北藤利通議員	サンタランド 魅力向上の対策は	P 8
	企業誘致の取り組みは？	
小田雅二議員	求められるオンライン化 その活用方法は	P 9
	空き地・空き家対策は	

前崎 茂議員	国保病院で人工透析治療を	P 10
	新型コロナ 第2次支援体制を	
旗手恵子議員	介護保険第8期に向けての対策は	P 11
山谷照夫議員	J Rバスの路線維持は	P 12
萬亀山ちづ子議員	古い看板標識の撤去等の対策は？	

質問 町内飲食店へのさらなる支援について、冬場の感染予防対策で厚生労働省より特に有効だと推奨されている室内の換気と湿度の維持、□からの飛沫の防止を重点とした取り組みを強化する事業所に対し、新北海道スタイルのもと、広尾町独自の感染対策支援制度を創設し、町独自の支援ができないか。また、取り組みを強化した事業所へ認定ステッカーを交付し、町民が安心して飲食ができる店を増やすことで町内の経済を少しでも回すことができると思うが、町長の考えは。



まつだ 松田健司 議員

飲食店への感染予防対策支援は

町長 スピード感をもって対応したい

答弁 村瀬町長

町民の命と健康を守ることを最優先に様々な感染拡大防止対策に努め、各種緊急経済対策を実施してきた。コロナ感染症対策と町内の経済を回すことは喫緊の課題であり、特に飲食店への影響が大きく、町としても積極的な取り組みが必要であると認識している。商工会が町内飲食店の実態を調査しており、調査結果を把握したうえで、感染防止策に積極的に取り組む飲食店への支援策を検討している。効果的な支援が図られるよう情報を収集し、さらに町民が安心して飲食店へ行けるよう、商工会と連携しながらスピード感をもって対応していく。



感染症予防に取り組む町内の飲食店

次のページは「一般質問」
『サンタランド・企業誘致・オンライン面会・空き家対策』



サンタランド 魅力向上の対策は

町長 民間の力を活用していく

質問 昭和59年に国内唯一の「サンタランド」として、本家ノルウェーから認定され、今年で36年になる。様々な事業を展開してきているが、そこに住みたいと思える魅力あるまちを目指していかねければならないと思う。

答弁 村瀬町長

今年は、新型コロナウイルスの影響により各種イベントが中止になったが、大丸山第2展望台付近の16メートルのトドマツに2万個のLEDを装飾したジャンボツリーや、4000個のLEDを装飾したメインツリーを整備するなど、大丸山森林公園を中心にシンボルゾーンとして魅力向上に努めた。

満足度を向上させたい。さらに、サンタランドの魅力向上プロジェクトを進めるべくプロジェクトチームを組織し、民間主導でサンタランドを町民から盛り上げる機運を高めていく。

以前提案した夏のイルミネーションの点灯や、軽食をとれるような施設運営について、どのような検討をしているか。若い世代の希望を叶える取り組みをしていただきたいと思うが、現状における課題を踏まえた今後の事業の考え方や魅力向上策について伺う。

また、令和3年度から民間の能力を活用できる指定管理者制度を導入し、夏場の点灯など利用者の多様化したニーズに対応したきめ細かなサービスを提供し、



新たな制度を導入しサンタランドを盛り上げていく

企業誘致の取り組みは？

町長 企業との協議が調えば進めたい

質問 地方創生や昨今の新型コロナウイルスなど、社会情勢を踏まえた雇用機会の増加を図り、若い人がたくさんいる活力あるまち、豊かで住みやすいまちづくりを進めるための企業誘致の考えや現状、今後の取り組みについて伺う。

答弁 村瀬町長

これまで企業誘致は十勝港を中心に進めてきている。しかし、平成23年に第4ふ頭で飼料コンビナートが本格稼働を開始して以来、町内企業による工場新設はあったものの、企業立地がなされていないのが現状である。

十勝港への企業誘致には、定期航路の開設が必要で、そのためには十勝港に常に荷物として農産物があることが求められる。航路と施設の両方が同時に進み、さらに高規格道路の十勝港までの延伸も不可欠である。

何年も放置されているオソウシ牧場は、山間、斜面は刈取りされず、雑木が生えて使えなくなる。そのため、価値がなくなる前に希望者へ提供したり、業者に譲渡するなど、町の経済が回るよう取り組んでいただきたいと思います。

企業誘致を進める

うえで、港も重要な点であるが、オソウシ牧場もいろいろな企業が目を向けており、日高山脈の景観や大きな土地などの利活用も企業との協議が調えば進めたい。



雇用を増やし活力あるまちへ

求められるオンライン化 その活用方法は



おだ 小田雅二 議員

町長 高齢者施設の面会に活用



家族とオンライン面会をする入所者

質問

コロナ禍により、各種の会議、講演、面会についてもオンラインサービスが一般的になったが、社会を形成していくうえで人と人、家族と家族のつながりを維持していくことは重要かつ基本と言える。町の高齢者施設でもオンライン面会の運用が求められるが、その進捗状況や内容について伺う。

また、このオンライン化は、例えば学童保育の現場にウェブカメラを設置する等して類似の運用サービスも可能だが、どのように考えるか。

答弁

村瀬町長

養護老人ホーム・特別養護老人ホームでは新型コロナウイルスの感染経路遮断のため、原則、入所者への面会を禁止しているが、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用して施設のWi-Fi環境を整備し、オンライン面会の準備を進めてきた。

特養は12月1日に整備済みで、養護は、令和3年2月頃をめどに進めており、それまでの期間は、特養の面会システムを活用する予定である。

面会方法は、ウェブアプリを使用したビデオ電話で、ご家族側にスマートフォンなどの端末の準備が必要となる。ご家族で端末を持つていない方は、施設に來所しオンライン面会ができる準備をしている。

この運用について、ほかの分野への活用の視点も持ちながら、検証をしていきたい。

おだ 小田雅二 議員

空き地・空き家対策は

町長

所有者に整備を促し 法改正等も検討

質問

全国の私有地の20%が、所有者が不明となっており、九州の面積とほぼ同じ大きさである。これは相続されていく土地の登記が法で義務化されていないため、全国的な地価の下落が拍車をかけている。

また、古い空き家を取り壊さない理由には更地にすることで税額が増えると思われることもある。所有権放棄が法で認められない状況では、今後全国的にますます空き地・空き家が増え、地方のゴーストタウン化は加速する。不要となった私有地を自治体が引き受けざるを得ない時代が来るが、町としての検討状況は。

答弁

村瀬町長

固定資産税の住宅用地の軽減特例があるが、地方では住宅を取り壊した方が税が安くなる場合がある。

老朽化した空き家は危険なため、平成28年度に条例の制定や空き家等対策協議会を設置して本格的な対策を行っている。必要に応じて所有者へ連絡し協力をいただいている。

これまでの働きかけにより、危険な空き家を12件解体撤去した。

また、町では今年度から50万円を限度に解体費用の8割まで補助する制度も創設した。



空き家の適切な管理が求められている

国保病院で人工透析治療を



まえざき 前崎 茂 議員

町長 課題はあるが検討を進めていく



町内での透析治療実施に向けて検討

質問

全国の慢性腎不全による人工透

析患者は年々増加しており、本町でも直近10年間では16人から19人程度だったが、この1、2年は24人から25人と急増している。標準的な人工透析治療にかかる時間は4時間から5時間だが、本町ではさらに大樹町までの通院時間や待ち時間が加わり、大変疲れるとのことである。広尾町国保病院で人工透析治療ができるよう切実な声が寄せられており、早期に施設整備を検討すべきでは。併せて予防対策の考えは。

答弁

村瀬町長

10月から大型タクシーによる送迎サービスを開始したが、透析患者が増加傾向にある現状と、大樹町までの通院における心身的・経済的な負担を考慮し、広尾町国保病院での透析治療について検討していく必要がある。透析治療体制整備に要する費用は、ベッド数を7床とした場合、医療機器整備と排水設備工事を合わせて3600万円余りと試算する。また、このほかに専門医や技術医療スタッフの確保、透析治療用の専用スペースの増築が課題となる。患者増加要因として食生活が要因のひとつとなつてきていることから、特定健診や特定保健指導の受診を勧奨し、早期発見・重症化予防に取り組んでいく。

まえざき 前崎 茂 議員

新型コロナウイルス 第2次支援体制を

町長 予算措置の見込みがあれば判断する

質問

世界を震撼させた新型コロナウイルス

イルス感染拡大は収束するどころか、首都圏を中心に拡大しており、十勝でも新規感染者が発生し、忘年会や新年会も9割以上が中止するなど飲食店等の売り上げは大幅に減少すると予測されている。大樹町では、12月議会

答弁

村瀬町長

他町村の各対策は国の地方交付金を充てており、町村の判断で内容が異なる。本町は、中小企業緊急支援のほか、プレミアム付商品券、老人ホームの見守り付きコールシステムなど住民生活に密接し、かつコロナ感染

対策に対応する内容を選択して対策を講じてきた。プレミアム付商品券発行など第2次の支援体制の構築について、本町は緊急的な経済対策としての考えであり、国の第3次補正で経済対策予算等の措置が見込める段階で総合的に判断したい。

大樹町では、12月議会第2弾のプレミアム付商品券を発行し、町内における消費喚起の対策を講じている。本町においても、飲食店をはじめとする第2次支援事業として、①プレミアム付商品券の発行、②中小企業給付金支援事業を再構築し、本町の経済を支えていくべきと思うが。

他町村の各対策は国の地方交付金を充てており、町村の判断で内容が異なる。本町は、中小企業緊急支援のほか、プレミアム付商品券、老人ホームの見守り付きコールシステムなど住民生活に密接し、かつコロナ感染対策に対応する内容を選択して対策を講じてきた。



売り上げが回復しない飲食業への支援が喫緊の課題

はたて 旗手恵子 議員



介護保険第8期に 向けての対策は

町長 健全な介護保険
運営を進める

質問

本町は、介護保険料を第5期から月4400円を維持。

要介護認定率は15・1%で、ともに管内低位となっている。それでも利用者の中には介護サービスの中で、利用回数を減らすなど調整している実態もあるが、実態調査は実施しているか。また、介護従事者の処遇改善が必要では。政府は、要支援者等に限定されている介護予防、日常生活支援事業の対象者について、来年度から市町村の判断により、要介護者も総合事業の対象にすることを可能とした。本町は、どのような形で運用するのか。これが進むと、なし崩しの要介護も総合事業になる危険があるのでは。

答弁 村瀬町長

実態調査はしていないが、担当ケアマネが利用者本人や家族と話し合い、サービス内容や頻度等を決定するため、自己負担を理由に利用を控える方は見受けられない。養護・特養における介護従事者の処遇は、会計年度任用職員制度の移行で、月給制と昇給の付与、通勤手当の支給や休暇の繰越しなど改善している。また、町内の居宅介護支援事業所も、介護報酬における特定事業所加算等を獲得し、人件費に充てるなど、処遇改善が進められている。

総合事業の介護予



ケアの充実には介護従事者の処遇改善も必要

防・生活サービス支援事業のうち、本町が提供する訪問介護と通所介護は、介護給付を基本としており、要支援から要介護になった場合は、これまでどおり総合事業から介護給付に切り替えてサービスを提供していく。

JRバスの路線維持は

町長 今後のあり方を検討中



やまや 山谷照夫 議員

JRバスの乗車人数及び委託料

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31 (R1) 年度
年間乗車人数	1742人	1839人	1785人	1393人	991人
委託料	587万2500円	587万2500円	587万2500円	683万500円	642万4000円

質問

JRバスは「生活路線」と「通学路線」でもあり、また日高山脈襟裳国立公園化の動きから「観光路線」ともなる。

町政執行方針で、利用状況から本年度中に方向性を判断したいとしているが、第6次広尾町まちづくり「実施計画」では、令和3年度から5年間は維持されるが、令和8年度以降はどう考えているか。また、沿線住民の意見集約はどうなっているか。さらに、「えりも町」との協議等が必要と思うが、その用意はあるか。

答弁 村瀬町長

JR北海道バスが廃止された翌日から委託をして運行の継続と沿線住民の交通の便を守ってきた。しかし利用者は平日平均2・98人であり、利用者数の減少により委託料は増加している。第6次まちづくり推進総合計画の前期5年で、買い物の足の確保や公共交通の抜本的な改革を想定しているため、令和8年度以降はJRバスの維持に限らないと考える。

沿線住民には、「運行時間が利用しにくい」との意見があり、えりも町とは効率的な運行をするための協議を重ねている。令和3年度は現行どおり運行継続するが、今後のあり方は検討していく。

次のページは「一般質問『まちの景観』」「高校生傍聴・モニター会議」



古い看板標識の 撤去等の対策は？

町長
撤去を予定。今後も
見回り、点検を実施

質問 町内には、過去に設置した老朽化が進んだ看板や道路標識などが存在している。第6次の「広尾町まちづくり推進総合計画」においても、安心な町を目指すとしているが、景観を損なう看板・標識や、危険を感じる空き店舗や空き家などが目立っている。国道336号、帯広方面へ向かう野塚市街のカーブ付近に設置されている交通安全の啓発看板は、長年の風雨にさらされ、ドライバーには読み取れない状態となっている。町の景観保持の考えは、

答弁 村瀬町長

指摘のあった野塚市街の看板は現地確認を行い、風化が進んでいたため交通安全の赤い回転灯のみ移設し、看板と骨組みは撤去予定である。
良好な景観を保持するため、役場各部門が定期的に街灯や看板、構築物などの見回り点検を行い、町民から指摘があった場合は随時対応している。今後も景観が損なわれないよう、また、看板の落下等で事故が起きないように、適切な見回りや点検、確認を続け、きれいで豊かなまちづくりを進めていく。



文字が読み取りにくい野塚市街の看板

広尾高校生 一般質問を傍聴

高校生の感想

- ・ 懇談会で自分たちが出した意見の内容が含まれていて、意見を出すことは大切だとわかった。
- ・ 自分たちの意見が届いていてうれしかった。
- ・ 町をより良くするために、議会で詳しく話しているのを聞いて自分たちでも何かできることがあったらやっていきたいと思った。
- ・ 自分たちに困ったことがあれば、議員に言えば解決できる可能性があると思った。
- ・ 町議会では町民の意見を用いて提案しているのだと思った。
- ・ 色々なデータを基に説明していてすごいと思った。
- ・ 懇談会で提案したことが少し内容に入っていたので、町民の声は取り入れられているのだと思った。
- ・ 高校生からも案を出して広尾町を変えることができると思った。今後の広尾町の変化が楽しみだと思った。
- ・ 町民のために様々な問題を細かく話し合っていることが伺えた。
- ・ 課題を出すのは簡単だけど、改善するにはお金や町民のことも考えながらしないといけないから難しいことがわかった。

11月26日開催の「広尾高校生と議会議員のまちづくり懇談会」を踏まえて、広尾高校第1学年45名（うち4名欠席）が12月9日の一般質問を傍聴しました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策で1クラスを2班に分けての傍聴となり、短い時間の中でしたが、熱心に傍聴していただき、一部をご紹介します。



真剣な眼差しで傍聴する高校生

町民の意見を 議会運営に反映

1/25

議会モニター会議を開催

議会モニター9人、議員7人が出席し、議会を傍聴した感想や議会改革の取組、議員活動について意見を交換しました。

※意見は抜粋して掲載しています。

定例会等

鈴木 一般質問は、発言したい議員の中から数名のみが選ばれているのが。日々、町民の声を拾い、活発な議会となつてほしい。

議会 会派を代表して質問するということはない。会期中は誰でもできるが、その議員しか一般質問をしたいと言っていない。議会は議決機関であるが、一般質問は、意見を町政に反映させることができる。

大庭 一般質問などで議員の考え方を示してほしい。

議会 一般質問とは違う場面でも解決できることがある。

上野 決算で同じ議員ばかりが討論している。

議会 決算に反対する議員はほぼ同じ傾向にある。最初の一人目と賛成討論の趣旨が同じ場合は討論をしないことがある。

上野 意見を述べている議員は、よく勉強していると思う。

高校生との懇談

宮原 議会速報の高校生の感想を読むと、問題解決のためにもう一歩踏み込んで議論すれば、具体的なものになり、町に提案できるのではないかと速報には感想しか掲載していないが、町への要望等を踏まえた懇談はできていた。

議会 速報には感想しか掲載していないが、町への要望等を踏まえた懇談はできていた。

宮原 高校生の意見を聴き、議員活動に役立てようとしているか。

議会 懇談の中で貴重な意見もあり、行政に提案できるものは参考にしたい。

菊地 議員は町民と懇談した内容を役場の職員にきちんと伝え、町民の思いをくんでほしい。

会川 議員や町長、産業界、飲食業などのプロフィールが高校生を含めて合同懇談会などを開催すると、高校生は課題に対する双方の意見を聴くことができ、かなり理解すると思う。

議会 高校生議会は、有権者教育も含めて地方自治について考える趣旨で取り組んでおり、二元代表制というまちづくりに対する仕組みの理解や議会に興味を持ってもらうねらいがある。

議会改革

議会 昨年は、新型コロナウイルスウィルス感染拡大防止のため議会報告会を中止した。

大庭 開催すれば、町民もいろいろな意見があると思う。

上野 議会報告会後に懇談をしてみてもいい。

も本気で意見交換することが必要である。

議会だより

鈴木 まちづくり計画の「10年後のめざす姿」の進捗状況など検証を踏まえた上で、随時議会だよりに掲載する予定はあるか。

事務局 予算や決算の質疑を踏まえ、議会広報委員が編集すると思う。

上野 字の大きさは良いが、グラフの数字などが小さい。

議会 文字等を大きくすると紙面に掲載する内容が少なくなるが、検討する。

鈴木 子ども向けコーナーを掲載してみてもいい。

議会 検討する。

その他

鈴木 中学3年生の授業で、広尾の良いところを

保護者に発表する機会があり、議員にも見てもらえると深みが出ると思う。

小柳 意見を出した中学生に議員の考えを伝える場が一度でもあると、良い経験になると思う。

議会 中学生との懇談は、十勝管内では子ども議会として、教育委員会主催で実施しているところがある。中学生が発表している場面を見学してみたい。

大庭 レポート以外の方法でも受講した研修内容を町民に聞かせてほしい。

議会 研修した内容を将来に向けてどう生かすか、議員間で協議する。

石原 議員の資質や意欲を向上させるため、コーディネーターをつけてみては。

議会 議会改革や地方自治の研修をしており、議員個々の取組で資質向上を図っていく。

※議会モニターを募集詳しくはP26を参照



第6回臨時会

11/13

まちづくり推進総合計画

計画案一部訂正



令和2年第3回定例会
で議案審査特別委員会に
付託された、広尾町まち
づくり推進総合計画につ
いて、記載文書の一部を
適切な表現に訂正し、ま
た、効果的・効率的な行
財政運営の成果目標の一
部誤りについて審議した
結果、訂正案どおり許可
し、閉会しました。

第7回臨時会

11/25

議員・特別職・職員 給与を改定

人勧等に伴う減額

令和2年第7回臨時会
が11月25日に開かれ、条
例改正、補正予算の議案
11件を審議。いずれも全
会一致で原案どおり可決
し、閉会しました。

職員等給与

人事院勧告に伴い、職
員の期末勤勉手当支給率
を、及び特別職報酬等審
議会の答申に基づき、議
員、特別職の期末手当支

期末勤勉手当の支給率

	改正前	改正後
議員	4.40月	4.35月
特別職	4.50月	4.45月
職員	4.50月	4.45月

給率をそれぞれ0.05
か月分引き下げた。
(令和2年12月1日か
ら適用)

「計画案」の主な訂正内容

○広尾の魅力発信プロジェクト

- 訂正前 町民が、休日などに町内で過ごすことに飽きており、
↓
訂正後 町民が、休日などに町内で過ごす場所が少ないため、

○自分大好きプロジェクト

- 訂正前 子ども達の地元への関心が低く、郷土愛が醸成されていない。
↓
訂正後 子ども達の地元への関心が低く、郷土愛の醸成が不十分である。

○芸術文化の振興

- 訂正前 地域の文化サークルなどの活動が停滞している。
↓
訂正後 地域の文化サークルなどの活動が停滞傾向にある。

○効果的・効率的な行財政運営「成果目標」

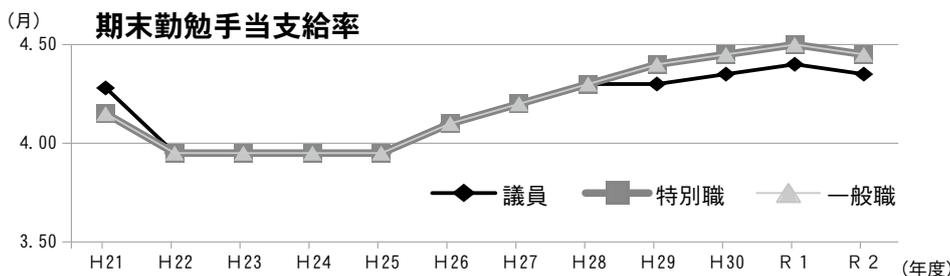
- ・地方債（借金）残高の金額（単位：億円）
訂正前 現状～157.6 中間目標～110 最終目標～90
↓
訂正後 現状～157.6 中間目標～122.3 最終目標～77.7

令和2年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑩⑪	84億7452万円	53万円	増
港湾管理特別会計 ③	1億2945万円	増減なし ※歳出の補正	
簡易水道事業特別会計 ④	1億3049万円	1万円	減
下水道事業特別会計 ④	5億2768万円	3万円	減
国保事業勘定特別会計 ④	9億9465万円	10万円	減
介護保険特別会計 ⑤	6億9786万円	14万円	減
介護サービス事業特別会計 ⑤	2億9703万円	45万円	減
水道事業会計 ③			
収益的収入	1億6132万円	3万円	減
収益的支出	1億6932万円	122万円	増
資本的支出	8936万円	319万円	増

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)



※特別職の期末手当支給率に
特例期間（平成30年4月1
日から令和2年4月29日まで）
があり、その期間は年間4.30
月の支給率でした

10年間のまちづくりを審査

令和3年度～12年度 

議案審査 特別委員会

11/6, 9, 13

委員長 浜頭 勝
副委員長 北藤利通

第6次広尾町まちづくり推進総合計画についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

将来像

海・山・川が織りなす、
希望が灯る
サンタランド・ひろお

「重点プロジェクト」の概要

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ①広尾の魅力発信プロジェクト
“広尾の魅力や情報が集まる拠点の創出” | 方向性
「日本で一番、また来たくなるまちをめざす！」 |
| ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト
“新たな魅力の創出と今あるものの魅力の再発見” | 「日本で一番、食べ物がおいしいまちをめざす！」 |
| ③「サンタランド」の魅力向上プロジェクト
“ここにしかない「サンタランド」の魅力に磨きをかける” | 「日本で唯一、サンタランドの魅力にあふれるまちをめざす！」 |
| ④ひろお子育て力向上プロジェクト
“地域みんながお父さん、お母さん” | 「日本で一番、安心して子どもを育てられるまちをめざす！」 |
| ⑤自分大好きプロジェクト
“関わり、交わり、認めて、育てる、地域の宝” | 「日本で一番、子どもが自分を好きになれるまちをめざす！」 |
| ⑥「賑わいと健康」創出プロジェクト
“豊かな自然の中で、健康増進と体験型観光を楽しむ！” | 「日本で一番、田舎を楽しむまちをめざす！」 |
| ⑦買い物利便性向上プロジェクト
“誰もが町内で買い物しやすい環境をつくる” | 「日本で一番、町民が買い物に困らないまちをめざす！」 |
| ⑧空き家再生プロジェクト
“空き家を徹底的に活用し、人が集まる場をつくる” | 「日本で一番、空き家を活用できるまちをめざす！」 |

まちづくりの目標

問 サンタランドが「まちのめざす将来像」となるのは抽象的な表現では

答 「海・山・川」は自然豊かな第一産業を表し経済基盤を立て、「希望が灯る」は安心して住み続ける町、希望の持てる町をつくり、「サンタランド」は基本理念である『愛と平和、感謝と奉仕』をもって町をつくっていく思いである。

問 目標の各項目ごとに「日本一をめざす」としているが、本町の財政や人口の状況から相当無理があり、高すぎる目標は挫折してしまうのでは

答 日本一という言葉を用いて機運を高めていく目的や、学生や若い人に積極的な姿勢を見せて、将来に夢と希望をもってもらいたいがある。

施設管理

問 旧施設の売却や貸付、除却を検討することあ

るが。

答 耐震性のない建物は取り壊すことを基本とする。耐震基準を満たすものは用途に応じ判断し、その都度検討したい。

魅力発信「観光施設」

問 観光交流施設の概要は。

答 広尾町の食材の魅力や特色を町内外に広く紹介し、町民が日常的に集まって楽しむことができる施設をめざす。小規模に建設し、軌道に乗れば将来的に「道の駅」としての機能を備えたい。

日本で一番、食べ物がおいしいまち

問 現状と課題で「広尾町ならではの食文化が伝承されず、消滅の危機」とあるが、実態にそぐわないのでは。

答 核家族化が進み、食文化が伝承されづらくなるという危機感があるため、伝承プロジェクトを組み立てた。

問 今まででも食資源の開発や商品化、ブランド化が出されていたが、今後の考えは。

答 観光協会を主体としたプロジェクトチームを立ち上げ、新ブランドの食資源の開発を進める。

サンタランド魅力向上

問 「日本で唯一、サンタランドの魅力にあふれるまちをめざす」とあるが、各プロジェクト内で可能なものはサンタランドに集約し、財源や人材を確保できないか。

答 必要に応じて横の連携を取りながら進めていく。

問 プロジェクトチームの構成員は。

答 各産業団体や町職員となる。

問 サンタランド振興事業の後期（令和8年度から12年度）が前期より1億円増えているが。

答 大丸山森林公園内に遊具を設置したい。

次のページは
「議案審査特別委員会」



真冬には湧き出した地下水が見事な氷柱に(ワシベの滝)

ひろお子育て力向上

問 保育士の慢性的な不足について、具体的な策は。

答 *ファミリー・サポート・センター事業を行っていききたい。また、有資格者の確保については、就労を義務付ける資格取得の貸付・助成制度を検討する。

問 「日本で一番、安心して子どもを育てられるまちをめざす」とあり、

出産祝い金制度を創設することあるが、先進町村はより子育て支援に力を入れているのでは。

答 母子年金や遺児手当など他町村にはない子育て支援をしている。財政状況を踏まえ、子育て世帯の負担軽減を図りたい。

教職員の働き方改革

問 教職員の業務負担軽減を図る取組は。

答 部活動の週休2日制度や定時退勤日の設定、また、町独自の教員

補助員や事務補助員を配置している。

教員住宅

問 教員住宅を改築するなど環境整備が必要では。

答 改築計画はなく、民間アパートを活用してもらおう考えである。

芸術文化の振興

問 30年前の第3次総合発展計画に計上され、先送りされている文化ホールの記載が無くなったが。

答 町政懇談会や産業・経済・福祉の各種懇談会等で町民から生涯学習センターの要望がなく、人口減少や財政状況から必要性を問う意見もあつた。事業費は20億円超で、年間維持費は5000万円と試算し、財政シミュレーション等を勘案し盛り込むことが叶わなかった。

問 大樹町生涯学習センターを広域利用し、多様な芸術鑑賞機会を提

供するとある。送迎バス運行基準の規定は。

答 各団体が年に1回バスを利用して町外に出られる貸出規程になっており、広域利用に向けて検討する。

キャンプ場

問 キャンプ場の運営を継続するのか。

答 キャンプ場の維持管理費は年間約400万円。改修費用は約60

00万円を見込んでおり、再整備をするか検討する。

文化財の保存、継承

問 博物館応援ボランティアを育成することあるが具体的な内容は。

答 広尾町検定を実施するなど町に興味を持ってもらい、ガイド役を担う人材を育成したい。また、博物館でクイズラリーやゲームなどイベントの充実を図る。

問 サンタランドの他にも、フンベの滝など魅力ある観光スポットがあるのでは。

答 まちを訪れる人が観光情報を手軽に入手できるように情報発信力を強化したい。

問 サンタメールの利用減少は、価格を引き上げたからでは。

答 物価や郵便料が上昇している。500円を維持しサンタメールを継続したい。

日本で一番、田舎を楽しむまち

問 「漁港かにぎわひまち」とあるが、釣り場の規制はあるか。また、地域振興のための情報公開の考えは。

答 規制場所以外は、釣りができるという認識である。今の時期は何が釣れるかなど情報発信を行いたい。



近海の魚類や漁法なども展示している(海洋博物館・郷土文化保存伝習館)



※ファミリー・サポート・センター事業
子育ての助けがほしい人、子育てのお手伝いをしたい人、両方を兼ねる人が会員登録し、子育てのサポートを提供する相互援助活動。

空き家の再生

問 空き家をリフォームしミニ道の駅やサー

ファアの休憩所として利用するとあるが、施設の維持管理、運営はどうするのか。また、空き家・空き店舗のリノベーションに730万円の予算計画があるが内容は。

答 町民ニーズを把握し、プロジェクトチームで活用方法を検討する。運営や管理は、町内会や同好会など地域が担う形を想定している。予算は、中規模の空き店舗で試算



before

after



大学生がインターンシップで滞在する空き家をリノベーション(音調津)

したが、利用目的を達成するための必要最低限の改修とする。

買い物の利便性向上

問 高齢者が買い物に出かけようとする気持ちを後押しする環境の実現はあるか。

答 ベンチの設置や新たな交通体系を検討し、外出ししやすい支援を進めたい。

また、商工会を中心に情報発信を充実させ、地域内の消費を喚起したい。

居住環境の整備

問 公営住宅の10年後の管理戸数は。

答 103戸解体し、542戸と計画する。

環境衛生の向上・資源リサイクル

問 ごみの排出量を減らす取組は。

答 ごみ減量化のメリットを出前講座等でくり返しPRし、啓蒙に努めた。

情報通信技術等の活用

問 情報通信技術（ICT）の整備後、先端技術の導入に向け、町独自の考えや方向性は。

答 産業団体と町が連携し、民間事業者のノウハウも取り入れて広尾町に合った形で進めていきたい。

広報・広聴、情報公開の充実

問 情報発信をしていくうえで、情報リテラ

答 シーを養う取組はあるか。町公式ウェブサイトの全面更新時に、勉強会を開催した。町民の情報通信員には、高校生を含め学びの機会を提供したい。

効果的・効率的な行財政運営

問 第5次の10年間で、歳出総額が大幅に増えているが、第6次ま

づくり計画の財政収支計画で大きな乖離があつてはならないと考えるが。

答 厳しい財政状況であるが、第6次計画の事業を確実に実行していく財政シミュレーションである。

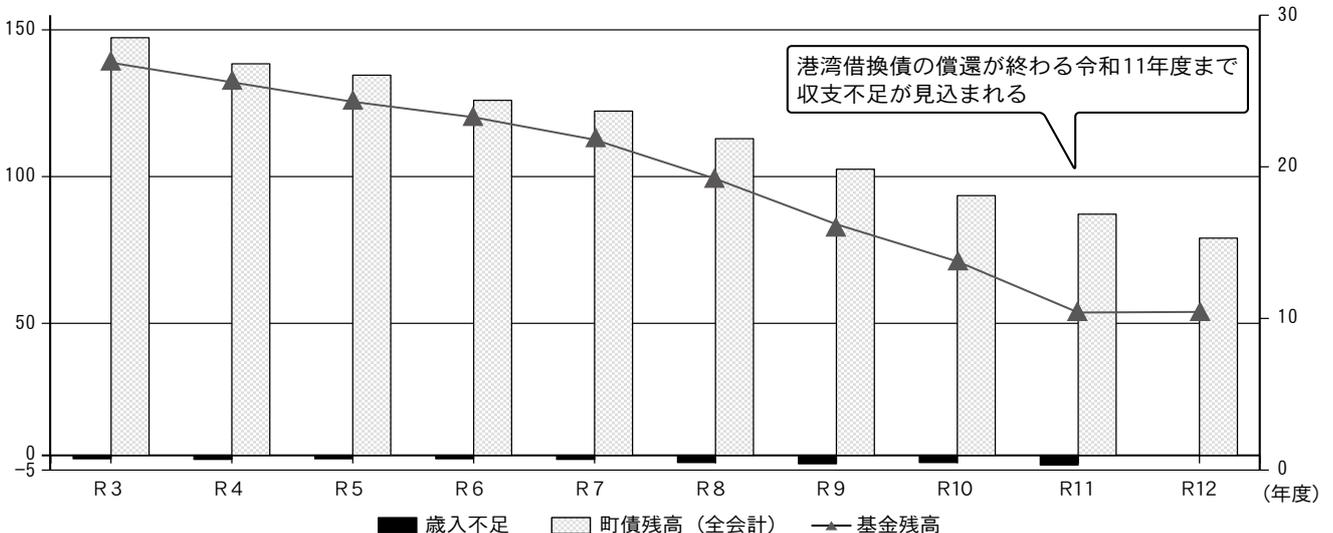
問 10年後の広尾町の未来のため、持続可能なまちづくりに向けて、財政状況を再認識すべき。

答 第5次行政改革大綱（平成30年度から令和6年度）を策定しており、歳入の確保、歳出の削減努力をし、行政改革を着実に実行する。

町債残高と歳入不足及び基金残高の見込

(町債残高：億円)

(基金残高：億円)



次のページは「常任委員会」



※リノベーション
既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり、付加価値を与えること。
※情報リテラシー
情報・データを管理、活用する能力。

考えた!



総務常任委員会

委員長 旗手恵子 副委員長 北藤利通

調査日 令和2年10月15日

養護・特養の運営状況

～新型コロナ感染症の対応～

新型コロナの対応

職員は標準予防策に加え、1ケア1手洗いを徹底し、入所者も見守りのもと手洗いや消毒を行っている。また、施設での対応指針の策定や感染症の発生を想定した研修の開催、来所者の健康状態の確認など感染症対策をしている。

感染者数が増加した4月から両老人ホームとも面会を禁止しており、今後は施設内のWi-Fi環境を整備し、オンライン面会ができるよう準備を進めている。

各行事は外部の慰問などを禁止し、規模を縮小している。また、入所者単独での外出を禁止し、必要時に職員が送迎するが、職員数の不足で対応困難となることもある。感染症予防による負担が増加しているため、洗濯や掃除などの間接的な介護業務を行う職員の確保を検討している。

物品として、消毒液やマスクなど衛生用品は充

足しているが、感染症発生時のガウンやグローブなどはさらなる準備を予定している。

養護老人ホームかもめ

■無線通信環境の整備

現在使用しているナースコールは1台しかなく、広い施設内では不便なため、Wi-Fi環境を活用した無線通信（インカム）を導入する。必要時及び緊急時に支援員内で共有でき、すぐに対応することが可能となる。

■タブレットシステムの導入

音声での介護記録入力や集計などを誰でもその場で簡単に行うことができ、記録時間の大幅な短縮が図られる。

特別養護老人ホームつつじ苑

■Wi-Fiを活用したナースコールシステムの導入

コールが鳴ると居室へ行き対応していたが、Wi-Fi環境を活用することで出勤している全介護・看護職員の携帯端末に通知されるため、スムーズな対応が可能となる。

■ナースコールと連動した見守りセンサーの導入

ベッドのマットレスの下にセンサーを設置し、入所者の睡眠状態や心拍・呼吸などが介護員室の管理用パソコンや介護



Wi-Fiを活用した新しいナースコールシステム(右)と、見守りセンサーにより入所者の睡眠状態等の確認が可能な管理用パソコン(左)

職員の携帯端末で確認可能となる。また、個々に合わせた設定で異常アラートが通知されるため、定期巡回以外の適切な見守りが行われるうえ、入所者の生活パターンが把握でき、個々に応じたケアサービスの提供とケアの質の向上が図られる。

問 経験の長い臨時職員やパートを正職員化できないか。
答 会計年度任用職員になり待遇改善されているため、正職員化は考えていない。

問 職員数の不足はあるか。
答 養護は採用見込みがあり不足しないが、特養は10人採用しても多くはない。

問 定員数に近い待機者数だが、増床が必要では。
答 今後も待機者は増えると思うが、国は在宅生活を推進しているため、在宅サービスの充実が必要になると考える。

産業常任委員会

委員長 渡辺富久馬 副委員長 浜野 隆

調査日 令和2年10月27日

林業・木材産業の 成長産業化に向けた見通し

～豊富な森林資源を生かしたまちづくり～

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会



暴風被害を受けた保安林を視察

森林の概況

本町の森林面積は4万7197ヘクタールで、所管別では国有林が69%を占め、一般民有林は31%である。人工林の樹種別構成割合では、カラマツが66%、次いでトドマツが25%である。

森林整備

昭和20年代半ばから40年半ばにかけて積極的に進められた人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、間伐や再造林等

を確実に実施するなど適正な整備が必要となる。森林資源の循環利用を推進するため、北海道と市町村の連携事業「未来につながる森づくり推進事業」により、本町でもカラマツ人工林の伐採・再造林が進み、造林面積も着実に増加している。

今後の森林整備を支える森林環境譲与税は、今年度から地方公共団体金融機構の国庫債権金利変動準備金を活用し、市町村等への譲与額が前倒しで増額されることとなり、森林整備事業に一層の加速が見込まれる。

担い手対策

近年の林業生産活動の活発化に伴い、道内の林業労働者数は増加傾向にあるが、依然として60歳以上の割合が高い。4月に設立された道立の「北の森づくり専門学校（北森カレッジ）」は即戦力や将来中核となるべく人材の育

成について大きな期待を受けている。

林業・木材産業の 振興に向けて

本町は、豊富な森林資源を町産材製品として流通させることで、川上から川下までの経済循環を活発にし、適正な森林づくりと地域産業の活性化、雇用の創出を目指している。

具体的取組として、①川下（マーケット）・川中（製材・加工・流通）・川上（山側）をつなぐネットワークの構築、②町産材



町内産カラマツを活用した森林組合の新事務所

現地視察

以下2箇所の現地調査を行った。

①野塚5線65・67 保安林緊急改良事業（道営治山事業）は、平成28年暴風被害を受けた耕地防風林（町有林）を災害に強い保安林として整備し、地域住民の生活の安定と産業基盤の整備を期する。

のブランド力向上、③地材地消の推進、④広尾の木ツリーズムの推進、⑤公共建築物への利用促進、⑥企業誘致の6つの施策を掲げている。

次のページは「議員の自己評価」

議員活動の自己評価

5つの項目を
4段階で評価しました

- ① 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会など）や研修の出席
- ② 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会）での発言
- ③ 議員研修や講演動画等の活用
- ④ 議会懇談会（高校生）、議会モニター会議など、議会改革の取り組み
- ⑤ 個々の議員活動全般

※ 議員活動の抱負

広尾町議会基本条例では、「議会は町民に対し、議員の活動を的確に評価ができる情報を提供する。」と定めています。

令和2年の改選後、議員個人がどう考え、どう活動したかについて自己評価を行い、その結果を広く町民に知らせることは、町民が議会、議員に対し、的確な評価を下す大きな材料となり、議会の透明化を目指す上での一つの手段になると考えます。

そのことから、昨年の改選後の活動について、「議員個人の活動にかかる自己評価」を実施しましたので、結果をお知らせします。

※年齢、所属委員会は2月末日現在

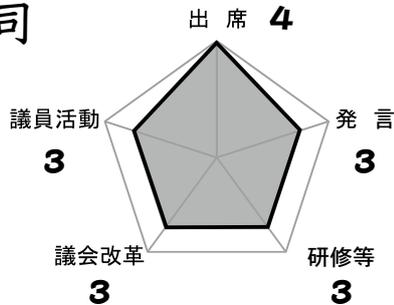
《各項目の評価基準は以下のとおりです》

まつだ けんじ
松田 健司



51歳

当選1回



- ・総務常任委員
- ・議会広報特別委員

出席	全て出席することができた
発言	一般質問や審査の質疑を通じ、積極的に発言するよう心がけた
議員活動	コロナ禍での制約はあるが、できる範囲で町民の意見を聴き、議員活動に反映した
議員活動の抱負	課題を探し、具体的な解決に導けるよう積極的な活動に取り組みたい。また、議員活動の内容が町民の皆さんに伝わるよう、広報でも積極的に取り組みたい

出席

- ・会議や研修の出席状況はどうだったか。
- ・正当な理由がない欠席はなかったか。

発言

- ・一般質問、審議・審査の質疑、討論などで自分の考え、意見を発言したか。
- ・発言の論点ははっきりしていたか。また、簡潔明瞭な発言だったか。

研修等

- ・コロナ禍で独自研修は見送りしたが、他の研修や講演動画等で得たことを、その後の議員活動に生かしたか。

議会改革

- ・事業実施にあたって、真摯に全力で取り組んだか。
- ・事業を実施して得たことを、その後の活動で生かしたか。

議員活動

- ・町民の意見を広く把握し、町政の課題への的確に反映させたか。

評価は4段階

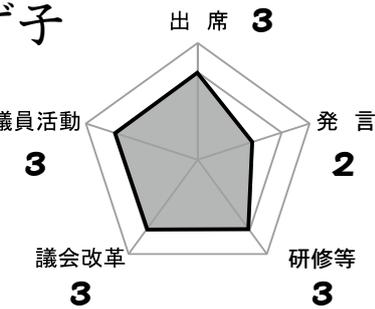
- 4 - よくできた
- 3 - 概ねできた
- 2 - あまりできなかった
- 1 - できなかった

まきやま
萬亀山ちず子



71歳

当選2回



- ・産業常任委員
- ・議会広報特別委員長

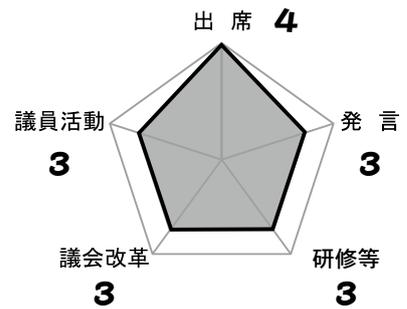
出席	概ね出席した
研修等	学ぶことが多く、町への思いがより一層強くなった
議員活動	誠意を持って取り組んだ
議員活動の抱負	町民の意見を広く聴き、寄り添った活動に努めたい

はまの たかし
浜野 隆



67歳

当選2回



- ・産業常任副委員長
- ・議会広報特別委員

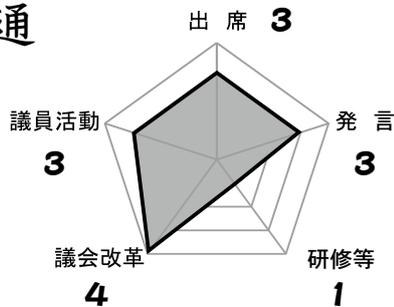
発言	一般質問はできなかったが、自分の考えは発言した
議会改革	短い時間での高校生との懇談に難しさを感じた
議員活動	的確とは言えないが努力した
議員活動の抱負	新型コロナにより行事や催しが中止され、多くの人との出会いや懇談の機会が減った。広尾町160年に向け大いに語り合いたい

きたふじ としみち
北藤 利通



68歳

当選3回



- ・総務常任副委員長
- ・議会運営委員
- ・南十勝複合事務組合議会議員

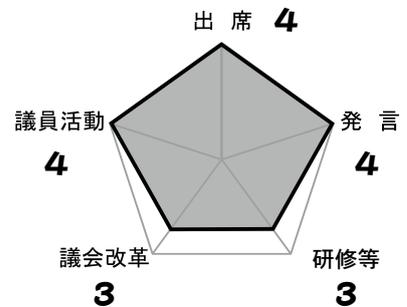
発言	簡潔明瞭
研修等	独自研修を見送ったため
議会改革	活動に生かされた
議員活動の抱負	町民の意見を広く把握し、町政の課題に反映させたい

まえざき しげる
前崎 茂



71歳

当選4回



- ・産業常任委員
- ・議会運営副委員長
- ・南十勝複合事務組合議会議員

発言	一般質問では、住民要望を毎回提案した。まちづくり特別委や予(決)算委などは、事前調査のうえ質疑をした
研修等	新型コロナ感染拡大で中止の研修会も多くあったが、自ら地方自治に係る研修については参加し研鑽した
議員活動	町民の皆さんとの議会報告会(個人主催)などを通じ、ご意見やご要望を受け議会で(一般質問など)取り上げてきた
議員活動の抱負	新型コロナにより、コミュニティを図ることが困難な状況であった。町民の皆さんの苦難軽減のため、感染防止に取り組みながら議員の責務を果たしたい



次のページも「議員の自己評価」

ほしか ひろやす
星加 廣保

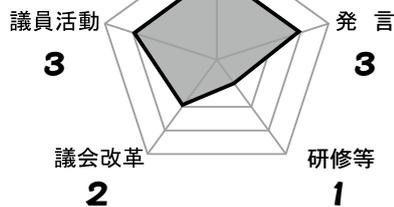


83歳

当選5回

- ・総務常任委員
- ・議会運営委員

出席 3



発言	日々行政に対し、意見を言える意識をしており、本会議や委員会では、執行者（町長など）側に疑義を質した
研修等	研修が減り、受講することができなかった
議会改革	懇談会等欠席したが、町民にとって身近な議会となるよう取り組んでいく
議員活動の抱負	昨年新型コロナにより、会議や研修等が中止となり従来の活動ができなかった。本年は、コロナ禍であっても、町民の負託に応えられるよう精一杯頑張りたい

しむら くにあき
志村 國昭

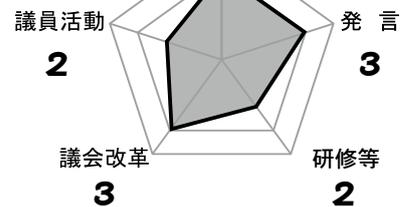


70歳

当選3回

- ・総務常任委員
- ・議会運営委員
- ・議会選出監査委員

出席 3



出席	コロナ禍の中で研修会の機会は減ったが、出席すべき会議等は皆勤した
議会改革	全議員が議会基本条例等を遵守しようとする認識に立てば、議会改革は進むと感じている
議員活動	新型コロナ感染予防のため、意見交換の場が減り課題に触れる機会も減ったため、満足のいく活動とならなかった
議員活動の抱負	第6次まちづくり推進総合計画がスタートする中で、新たな意見、要望が寄せられることに期待し、それらをどのように計画遂行に反映すべきか共に考えたい

わたなべ ふくま
渡辺 富久馬

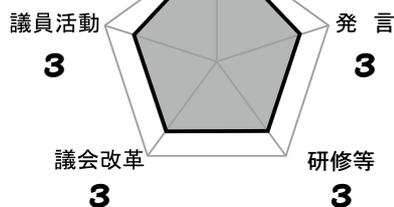


79歳

当選4回

- ・産業常任委員長
- ・議会運営委員

出席 4



発言	論旨を明確に表現できた
議会改革	議会懇談会（高校生）は、率直な話し合いができた
議員活動	常に町民の意見を吸い上げ話し合いを深め、課題解決に務めた
議員活動の抱負	新型コロナにより議員活動の場が減り、町民の皆さんも忍耐の続く生活が強いられるが、我々議員として何が出来るのか、真価を問われる年になる

やまや てるお
山谷 照夫



75歳

当選4回

- ・産業常任委員
- ・議会運営委員長

出席 4



出席	会議や研修に出席することは責務である
研修等	南十勝町村議会議員研修「十勝の経済情勢」は身近な現状であった
議会改革	誠意をもって取り組み、習得したことを活動に生かす努力をした
議員活動の抱負	昨年は例年の活動が制約された年であった。ウィズコロナの中、議員活動のあり方や議会改革を意識し、町民の意見を町政に反映できる議員活動に努めたい

はたて けいこ
旗手 恵子

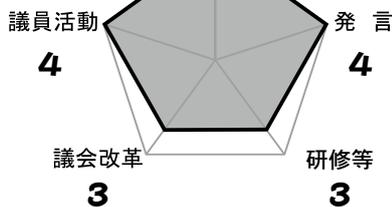


73歳

当選12回

- ・総務常任委員長
- ・議会広報特別副委員長

出席 4



発言	論点をはっきりし、質疑・討論など自分の考えを発言した
研修等	独自研修は見送りとなったが、他に研修の機会はある、議員活動に生かした
議会改革	懇談会は、広尾のまちづくりを高校生が真剣に考えている事がわかった。議会モニターは「議会をもっと活発に」との思いを受け止めた
議員活動の抱負	これまでの議員としての活動を真摯に続けたい

おだ まさじ
小田 雅二

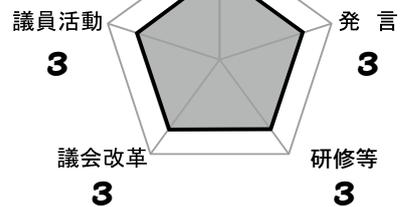


70歳

当選7回

- ・総務常任委員
- ・議会広報特別委員

出席 3



発言	自己評価としては平均以上と思うが、傍聴者側(他議員や職員)からの評価やコメントを望む
研修等	ネットやYouTubeを利用し、必要と思われる情報を得るなど自己研修をした
議会改革	いろいろな年齢、職種、立場の人と懇談し、意見や考えを聞くことは大事であり、後に生かしている
議員活動の抱負	コロナ禍によって議員活動が活発でなくなる事を防ぐために、是非ともリモート会議の実施やタブレットの活用が求められる

ほりた しげお
堀田 成郎

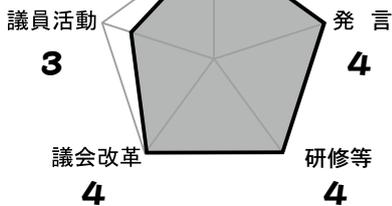


54歳

当選4回

- ・議長
- ・十勝圏複合事務組合議会議員
- ・とちかち広域消防事務組合議会議員

出席 4



出席	コロナ禍において多くの研修・会議が中止あるいは書面決議となったのが残念
発言	スムーズな議事進行ができた。テレビ会議ではなかなか深い議論ができない
議員活動	コロナ禍において、町民の皆さんとの話し合いが減少した
議員活動の抱負	昨年は、今までとは大きく異なった議員活動となった。このコロナ禍での状況は今後1~2年は続くと考えている。様式の変化に柔軟に対応していきたい

はまがしら まさる
浜頭 勝

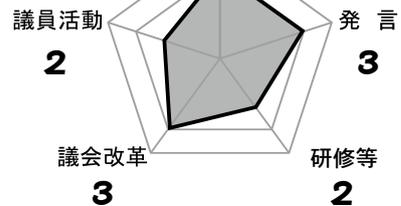


62歳

当選4回

- ・副議長
- ・産業常任委員
- ・議会広報特別委員
- ・とちかち広域消防事務組合議会議員

出席 3



研修等	研修などは中止も多く、あまりできなかった
議会改革	回数的には少なかったが、概ねできた
議員活動	新型コロナの影響もあり、あまりできなかった
議員活動の抱負	昨年は特別な年となったが、本年は多くの方の話を聴き、議員活動に生かしていきたい

令和2年は何をした？

議会改革



継続は力なり

改選の年でありましたが、令和2年1月から12月までの1年間に取り組んだ主な議会改革は次のとおりです。

なお、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大しているため、8月5日に開催した議員協議会において、議会の活動及び行事等を見送りや自粛することとなりました。

高校生議会

未来を担う高校生が、議会の模擬体験を通して町政や議会について理解を深め、地域に関心や愛着を持ち、まちづくりに参加する意欲を高めてもらうことを目的に「高校生議会」を令和2年2月10日に開催しました。広尾高校第1学年が8つの班に分かれて町に対する質問や意見を考え、各班の代表者8名が登壇し、高校生議長の進行のもと一般質問形式で町長に問いました。

議会懇談会

2班集体で、町内各種団体との懇談会を開催。また、全議員で、広尾高校第1学年とまちづくり懇談会を開催しました。
① 森林組合役員（2月）
② 町民有志（2月）
③ 広尾高校第1学年（11月）

議会モニター

議会の運営等に関し、町民からの要望や意見を聞くため、議会モニターを12名委嘱（定員12名、委嘱期間2年）しています。モニター会議は2回開催しました。
※13ページに関連記事

議会情報の公開

以下のことについて、議会広報や町ウェブサイトで公表しています。

① 議案賛否

人事案件を除く賛否のあった議案について、各議員の賛否。

② 議員の出欠状況

本会議、各委員会、研修等における各議員の出欠状況。

③ 議会活動状況

「本会議開催状況」「付議事件・議決結果（件数及び件名）」「一般質問」「意見書」など。

会議録の公開

町ウェブサイト
で本会議、予算・決算・議案特別委員会の会議録を公開しています。（公開時期は各会議の約3か月後）

ネット中継

インターネットの映像配信サービス（YouTube）を利用して、本会議または本会議場で開催される委員会の生中継、録画中継を公開しています。

自己評価

議員活動を自己評価し、その結果を議会広報に掲載して町民に周知しました。
※20ページ〜23ページに関連記事

レポートの提出

議員研修に参加した議員は、事後レポートを提出し、町ウェブサイトで公表しています。

議会報告会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見送りました。
なお、議会基本条例に「災害等の対応」の規定を整備しました。



一般質問をした高校生議会



森林事業やまちづくりの意見交換をしました



令和2年 広尾町議会の活動状況

※令和2年1月～12月

1. 本会議開催状況

	回数	会議日数	付議事件数	傍聴者数
定例会	4回	13日	145件	58人
臨時会	7回	7日	54件	5人
合計	11回	20日	199件	63人

2. 一般質問

区分	定例会				延べ人数	実人数
	第1回	第2回	第3回	第4回		
質問者数	3人	4人	4人	7人	18人	7人

3. 委員会開催状況

委員会名		会期中	閉会中	計
総務常任委員会		1日	3日	4日
産業常任委員会		1日	2日	3日
議会運営委員会		3日	6日	9日
特別委員会	予算審査	5日	0日	5日
	決算審査	3日	0日	3日
	議案審査	1日	3日	4日
	議会広報	1日	11日	12日
合計		15日	25日	40日

4. 意見書の可決状況

区分	定例会				合計
	第1回	第2回	第3回	第4回	
可決件数	2件	4件	4件	2件	12件

5. 研修・視察活動等

① 議員研修会

日程	参加人数	研修地	内容
10/9	9人	大樹町	南十勝町村議会議員研修会 「十勝の経済情勢について」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、北海道町村議会議長会主催及び十勝町村議会議長会主催の研修が中止となりましたが、一部は動画配信により行われました。また、広尾町議会の独自研修は見送りました。

② 常任委員会行政視察

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総務常任委員会及び産業常任委員会の行政視察を見送りました。

6. 付議事件数・議決結果

(単位：件)

区分	提出者	種類・件数	議決結果・件数		
定例会	町長	条例	27	原案可決	27
		予算	46	原案可決	46
		決算	10	認定	10
		人事案件	12	同意	12
		契約	8	原案可決	8
		専決処分	4	承認	1
				報告	3
	その他	21		原案可決	15
				報告	6
	小計		128	小計	128
	議員	条例			
		意見書	12	原案可決	12
		決議			
		規則			
	その他	1	原案可決	1	
小計		13	小計	13	
委員会	条例	1	原案可決	1	
	その他	3	原案可決	3	
小計		4	小計	4	
定例会計		145		145	
臨時会	町長	条例	9	原案可決	9
		予算	20	原案可決	20
		人事案件	2	同意	2
		契約	2	原案可決	2
		専決処分	8	承認	3
				報告	5
	その他	2		原案可決	1
				許可	1
	小計		43	小計	43
	議員	条例			
その他		10	当選・互選	5	
			その他	5	
小計		10	小計	10	
委員会	その他	1	原案可決	1	
小計		1	小計	1	
臨時会計		54		54	
年間件数		199		199	



議会活動日誌

令和2年12月～令和3年2月

【12月】

- 3日 第8回議会運営委員会
- 8日 第4回広尾町議会定例会（～11日）
第11回議員協議会
- 9日 第9回議会運営委員会
- 11日 議会広報編集会議
- 27日 芽室町役場庁舎落成式（芽室町）

【1月】

- 3日 はたちのつどい
- 18日 交通安全署名簿奉納及び交通安全祈願祭
- 22日 十勝町村議会議長会役員会（^{*}テレビ会議）
- 25日 第2回議会モニター会議
- 26日 第1回広尾町議会臨時会
第1回議員協議会
第1回総務常任委員会

※十勝町村会は、管内18町村をオンラインでつなぐテレビ会議システムを導入し、令和2年9月から運用を始めており、1月22日の議長会役員会は同システムにより開催されました。

【2月】

- 4日 議会広報編集会議
- 5日 第1回産業常任委員会
- 10日 南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）
- 12日 第1回議会広報特別委員会
- 19日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 22日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 25日 第1回議会運営委員会

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和3年第1回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①第8期広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画について
- ②第3期広尾町障害者計画について
- ③第3次広尾町生涯学習推進計画について

◇産業常任委員会

- ①広尾町起業家等支援事業について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

◆ 議会モニター募集 ◆

平成27年度から議会改革の一環として議会・議員の活動や議会運営などについてご意見をいただく「議会モニター」制度を導入しています。

◇対象：議会運営や町政に関心のある満18歳以上の町民

◇募集人員：12名

◇任期：令和3年6月から2年間

◇内容：本会議を傍聴し議会運営に関すること、議会だよりなどについてのご意見・ご提言などを「議会モニター会議」で議員と意見交換します。

※詳しくは、議会事務局（☎2-0180）までお問い合わせください。

広尾町議会から町民の皆様へお願いします

①議場ではマスクを着用し、出入りの際には手指の消毒をしてください。

②傍聴席では間隔をあけてご着席ください。

③体調が良くないときは、傍聴をお控えください。

※町ウェブサイトから議会中継を見ることができます。

過去の
録画中継も
見れるよ



町ウェブサイト
「議会インターネット中継」
QRコード